

「がんと共に生きる」ためのサポートプログラムを開始

一人ひとりが、かけがえのない存在として認め合う風土をめざして

株式会社ポーラ(本社:東京都品川区、社長:横手喜一)は、従業員に加え、約4.6万名^{*}のビューティーディレクターとその家族、及び社会に向けた「がんと共に生きる」ためのサポートプログラムを2018年4月より順次、実施します。

※2017年12月31日時点

ポーラは、一人ひとりの個性を互いに認め、高めあいながら活躍することが、新しい価値を生み出す源泉であると考えています。現在日本では、2人に1人ががんに罹患しているといわれていますが、医療の発達により「がんと共に生きる」時代を迎えつつあります。がんは、罹患者本人はもとより、支えあう身近な人も含め、誰もが向き合わざるを得ない病気です。当社にも、がんの治療や看護をしながら働くたくさんの仲間がいます。「がんと共に生きる」すべての人をかけがえのない存在としてサポートする当社の取り組みは、人と社会の持続的成長を支える基盤になると考えています。

「がんと共に生きる」ためのサポートプログラム(概要)

■がんに対する理解を深める

がんと共に生きることが身近なことと理解し、がんと共に生きるために大切なこと(早期発見、治療環境、罹患者や家族の悩み、心構え)を深く学んでいきます。

■安心してがんと向き合う

一人ひとりがかけがえのない存在として認め合う関係の中で、安心して治療や看護に専念できるよう、心のケアや不安要素の低減をサポートします。また、治療支援制度、リモートワークなど生活を大切にしたい就労制度を整えていきます。

■経験を共有しあえる風土の発展

がんと向き合った経験そのものが貴重なものと捉え、会社全体が理解し、その経験を共有しあえる風土の発展に努めます。またその経験を社内に留めることなく、広く社会にも伝えていきます。

創業以来、「美しくありたい、自分らしく生きたい」と願う多くの女性を応援してきたポーラだからこそ、「がんと共に生きる」ことにしっかり向き合い、一人ひとりが、かけがえのない存在として認め合う風土づくりと共に、さまざまなプログラムを広げていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp